

巻 頭 言

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

病院長 松 波 和 寿

日本は、現在世界に類を見ない少子・高齢化社会を迎えようとしています。

少子化の原因としては、経済の悪化、晩婚化、晩産化、女性の社会進出等が挙げられています。しかし、これらの原因は社会の構造により、今さらどうにもならないことです。年間の出生数はついに94万人です。死亡数の方が出生数より多いのですから、今後増加することはまず無いでしょう。おそらく日本の人口は5,000万人ぐらいまで減少するのではないのでしょうか。労働人口の減少に対して、外国人労働者の活用、あるいは移民政策も考えられますが、医療の世界では言葉の問題や、日本のライセンス取得がネックでおそらく進まないでしょう。となると、医療提供者はますます劣悪な労働環境になりかねません。働き方改革が問題になっていますが、医療という仕事を時間で評価することは無理だと思います。医療人として、健全な労働環境であるのは当然です。しかし、国民の医療に対する期待はますます向上し求められるものは高度になっています。医療の質を下げずに、医療を提供するにはマンパワーに頼ることは今後できなくなります。これを解決するのは、ITの活用に尽きると思います。ここ10年、さまざまなテクノロジーの進化は恐ろしいものがありますが、医療の世界はITの進達は遅いと思います。慎重になっているのかもしれませんが、いち早く世の中にある高度先進的IT技術を日常診療に取り入れる体制が必要です。紙の良さは活かしながら、ITの活用を勧めていくのが現実的です。それにより情報共有が進み、業務効率化も図れます。すでに、当院は医療情報システムのみならず、事務的作業の効率化にRPAの導入を始めています。今後、AIとともに推進していきます。

また、当院の特徴としてファイルメーカープロの活用があります。すでに15年ぐらい医療情報に応用し日々進化しています。今回FMDという開発部を新たに設け、さらなる進化を進めていきます。その成果物は当院のみならず日本の医療界に少なからず役立つと思います。

しかし、最も大切なのは人です。良い人材を育成し、岐阜医療圏の急性期医療を担う病院として、ふさわしいように常に進歩していきます。医師の卒後臨床研修評価機構から、エクセレントと称されたのも一つの評価であると思います。

三ヶ年のビジョンに、「地域包括ケアシステムの要として日本一の民間病院になる」、「誇りを持って働ける病院になる」、「選ばれる病院になる」、「全職員が志を同じくし、常に変化する組織になる」の4つを職員で決めました。今年もさらにパワーアップして地域医療に貢献していきます。

皆さんよろしく申し上げます。